



アプリケーション

- 赤色蛍光灯の強度と経年劣化の監視
- 赤色光/LEDの強度と経年劣化の監視
- 赤色HIDランプの強度と経年劣化の監視
- コラーゲン刺激ランプの強度と経年劣化の監視
- 創傷治癒ランプの強度と経年劣化の測定
- 光合成作用スペクトル赤色帯の測定
- 屋外赤色光の測定



LED/照明



公衆衛生



計測学



環境



園芸

特長と利点

- コンパクト、ハンドヘルド、耐久性に優れています
- シンプルなワンボタン操作
- NISTトレーサブルの精度
- LCD ディスプレイ
- 米国製

センサー

GaAsPフォトダイオードは、密閉されたガラス窓キャップに収納されています。分光感度特性グラフに示されるように、フィルターを使用してレスポンスを狭くしています。

メーターの操作

ソーラーメーターを操作するには、メーターの上部パネルにあるセンサー ウィンドウを光源に直接向けます。メーターの表面にある押しボタンスイッチを押したままにします。最良の結果を得るには、繰り返し測定できるように、光源からの距離を記録してください。

バッテリーの動作電圧は9Vから6.5Vまでです。6.5V未満では、LCDディスプレイの数字が暗くなり始め、バッテリーの交換が必要であることを示します。通常のサービス負荷では、標準の9Vバッテリーは約2年間持続します。

SOLARMETER®の適切な使用 レッドライト 放射計

- 強い光源をチェックするときは、色つきの目の保護具を着用してください。
- 測定前にライトが温まるまで待ちます(少なくとも 5 分)。
- 個々の光強度を測定するには、メーターを LED またはランプの近くに置きます。
- 効果的な光強度を測定するには、メーターを光源から作業距離に置きます。
- ライトの経年劣化をチェックするときは、測定距離と位置を一定に保ちます。
- 出力が元の(新しい)測定値の約70%に低下したら、ライトを交換する必要があります。

モデル 9.6

可視レッドライトメーター・0~199.9 mW/cm²

適切な使用方法 (続き)

- 新しい値がわからない場合は、隣接するライトを新しい同一のライトに交換し、2つを比較してください。
- メーターを極端な温度、湿度、衝撃、ほこりにさらさないでください。
- 機器を清掃するには、乾いた柔らかい布を使用してください。センサーに油や汚れなどが付かないようにしてください。

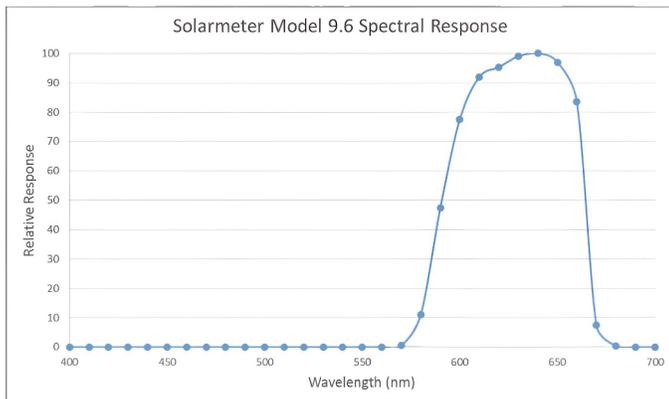


図1. モデル9.6 スペクトル応答



仕様	
モデル	9.4
照射範囲	0~199.9 mW/cm ²
ピークレスポンス	633nm @97%
レスポンス	577~661 nm レッドライト
解像度	0.1 mW/cm ²
コンバージョン率	3.0 読み取り/秒
ディスプレイ	3.5 桁 LCD
寸法	10.2 mm
動作温度	0°C ~ 37.8°C
動作湿度	5% ~ 90% RH
精度	±10% Ref. NIST
メーター寸法	106.7L x 61W x 22.9D mm
重量	128g (電池を含む)
電源	9 ボルト DC 電池
レンズ	UV ガラス
ディフューザー	テフロン
ディテクター	フィルター付きGaAsPフォトダイオード
機関承認	CE マーク

REV C | モデル 9.6 | 2023年1月
仕様は予告なく変更される場合があります

Solar Light Company, LLC の SOLARMETER®は、屋内と屋外の両方の光源を測定するUVおよび可視光放射計の業界標準です。当社のNISTトレーサブルが可能なメーターは、UV殺菌、爬虫類飼育、屋内日焼け、赤色/青色光線療法、UV硬化、UVインデックスのランプ放射照度と経年変化を監視するために使用されます。

